令和６年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２４００５

プロジェクト名　「シバプロ」～芝生・ひと・まちを繋げて楽しむプロジェクト～

プロジェクトの概要

芝生は社会の中に多く利活用されている生物資源です。しかし、注目される機会が少ない生物資源です。芝生の価値や魅力を再発見し、自然に触れることの面白さを伝えることを目指しました。そこで、本プロジェクトは、身近で誰もが知る植物である「芝生」の魅力を伝えることを目的とし、活動を行いました。活動内容としては、学生の手で学内の芝生管理を行いました。また、芝生の魅力の伝え方を学ぶために、芝生ボランティアへ参加しました。さらに、学生主体による芝生の魅力を伝えるためのイベント企画を実施しました。

プロジェクトの結果・成果

① 学内における芝生広場の管理

学生が主体となり、生物資源科学部キャンパス内の芝生管理を担当しました。暖地型芝生（ノシバ）と寒地型芝生（サツキワセ）の両方を管理し、四季を通じて景観を保つことができました。その結果、学内の職員や学生が芝生へ関心を持つようになりました。

② 地域ボランティア活動への参加

地域ボランティア「イクシバ！プロジェクト」に参加し、小学生を対象にした芝生普及活動を行いました。ペットボトルを使った芝生の観察セットを作成し、自宅でも簡単に芝生の成長過程を観察できる機会を提供しました。この活動は好評を博し、展示では 29 団体中最も多くの投票を得ました。（2024 年中央区こどもとためす環境まつり）

③ 芝生イベント企画の実施

学内の芝生広場で、小学生低学年を対象にした体験型学習イベントを開催しました。イベントでは芝刈り体験やペットボトルポット苗の作成、芝生の形態を学ぶポスター展示、ワークシートの実施など、多岐にわたるプログラムを提供しました。これにより、学部を超えた交流が生まれ、芝生の魅力を幅広い世代に伝えることができました。

これからも引き続き、芝生の価値を多くの人々に伝え、自然とのつながりを深める活動を続けていきます。

活動写真





